

## 家族と一緒に晩御飯が食べられること！

企業名	(株) 仙台配送	所在地	仙台市
業種	貨物自動車運送業	労働者数	54名
電話番号	022(259)6261	ご担当者	代表取締役 <small>おのうえ</small> 尾上 寿昭

### (取組の目的)

安心安全をモットーに、社員一人ひとりが心身ともに健康で働きやすい職場を構築し、笑顔で活躍できる企業を目指して取り組んでいる。

### (取組内容)

- 中間配送（2社間ドライバー交代式中継輸送）による労働時間の短縮  
萬運輸（株）（横浜市）との取組みにより、以前は相模原市までの配送を、白河市（現在は栃木県矢板市）を中継地点ドライバー交代式中継輸送を実施している。
- 一部の土曜日配送・チャーター便の廃止による休日日数の増加  
一部日中便の土曜日配送は積載量が少なく効率性が低いことから、荷主と交渉し、この配送をやめ、運転者の休日数の増加が図られた。また以前より懸案であった効率の低いチャーター便（貸切配送）の受注もやめる決断をした。
- 小口混載便受注拡大による労働生産性及び付加価値の向上  
混載便の受注体制に拡大により、取引先からの近距離、小規模配送ニーズを掘り起こすことができた、さらに受注量は伸長傾向である。  
最近では、混載便でスペースを坪単位、m<sup>2</sup>単位の受注を始め、使い勝手の狭い、2ト<sub>ン</sub>平台車両を効率よく活用できている。利益確保できる価格設定が可能である。
- 有料道路の積極的な使用  
運転者には負担軽減のため、近距離でも有料道路の使用を指示している。日中便はもちろん夜間便の運転者も毎日の夕食を家族で取れるように運行計画や仕事量の調整を進めている。  
子供たちの行事、特に幼稚園、小学校の行事には積極的に参加するようにしており、休みやすい雰囲気作りに気を配っている。

### (取組の効果・結果)

- 中間配送の取組みにより該当運転者の拘束時間は3時間（14時間から11時間）削減することができた。
- 休日日数は年間90日から110日へと約22%増加した。
- ほぼ全員の労働者が、毎日の夕食を家族で取れる状態になっている。

### (今後の取組)

- 休日日数の増加、拘束時間の減少に関しては、一定の効果は見られるものの、年次有給休暇の取得率は約30%と、まだまだ踏み込み不足であり目標の約80%には遠い状況である。速度を上げて取組んでいく。

### (荷主に対して)

直近の運賃交渉では、こちら側の主張を飲んでもらっている印象である。  
「2024年問題」がメディア等で取り上げられる場合が増え、社会の関心が高いことが影響しているためか、あまり高圧的な対応は取れないとの諦め感もあるものと思われる。